

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社日本保育サービス

② 施設・事業所情報

名称：アスクいどがや保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：松本 憲祐	定員（利用人数）： 90名	
所在地：神奈川県横浜市南区井土ヶ谷下町214-5 2F		
TEL：045-716-4707	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2011年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス		
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 7名	
専門職員	看護師 1名	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室 6部屋 事務所	乳児・幼児トイレ 各1つ 調理室 1つ 調乳室 1つ

③ 理念・基本方針

- 1) 安心&安全を第一に保育・育成を実施します
- 2) いつまでも思い出に残る施設となるよう日々の保育を大切にします
- 3) 職員が楽しく働けることで子どもたちを笑顔にします
- 4) 地域とつながり支え合う施設として社会に貢献します
- 5) 常に時代が求める子育て支援を実践し続けます

④ 施設・事業所の特徴的な取組

京浜急行線井土ヶ谷駅から徒歩2分程の2階建てビルの2階を園舎、屋上を園庭として使用しています。バス通りに面し、交通量の多い駅前に立地していますが、園内は騒音もなく落ち着いた環境を整えています。近隣に大小様々な公園があり、戸外活動に利用しています。設置法人は株式会社日本保育サービスで、首都圏を中心に全国200ヶ所以上の保育所・学童クラブ・児童館を運営する「総合子育て支援企業」です。特徴のある保育として設置法人グループ内から派遣される専門講師による英語、体操、リトミック教室の保育プログラムがあり、子どもたちは異文化に触れたり、思い切り体を動かしたり、音楽に合わせて自由な表現活動を楽しんでいます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月1日（契約日） ～ 2023年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	8回（2018年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 子どもが主体的に活動できる広い屋上園庭

園には広い屋上園庭があります。園庭からは子どもが好きな京急線の電車を見ることができます。広場、砂場、水場等があり季節ごとに色々な遊びを楽しんでいます。園内には滑り台や鉄棒を設置しています。最近ではタイヤを取り入れています。始め

の頃は子どもに戸惑いも見受けられましたが、そのうちに転がしたり、お風呂に見立てたり、子どもの発想を活かしながら遊んでいます。広場ではコンビカー、三輪車に乗ることができ、年長児が漕ぎ方を教える様子が見られ、異年齢児交流ができています。

2. 子どもの興味関心を育み、更に深めていく取り組み

園では子どもの興味関心を育むための取り組みを行っています。食育では毎月、日本各地の郷土料理を提供しています。その際、料理だけでなく、その県の地図や有名な食べ物、名所等を紹介し、壁に掲示しています。また、季節ごとの行事食（正月料理、節分等）を提供する際には、昔からの習わしや意味等も伝えています。屋上庭園にはプランターを設置し、草花や野菜の栽培やビオトープを行っています。特にビオトープ体験ではエビとメダカを飼うことで、自然環境の大切さを実感することができています。

◇今後期待される点

1. 事業計画及び長期・中期計画の職員、保護者への周知

園では事業計画と長期・中期計画が策定されていますが、園長と本部で担当している、職員には内容を周知しているのに留まっています。計画を策定する上では職員からの意見も反映させることで、現状に即した内容となっていきます。そのため、職員の参画が求められるところです。また、計画は保護者への周知は行われていない状態でした。園がどのような考えを持ち、方向性を示しているかを保護者とも共有することが望まれます。

2. 保育業務の標準化

本部が作成しているマニュアルには、保育業務に関することが網羅されています。入職時の研修で学び、その後も年間研修計画の中でこれらを学ぶことができる機会があります。しかし、現場では必ずしもマニュアル通りに実践されていないところもあり、課題がみられました。ベテランの職員が増え、それまでの経験に頼ってしまっている部分もあるということです。若手職員も入ってきていますので、今一度マニュアルの確認をし、園として業務の標準化を図っていくことを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

アスクいどがや保育園は開園して11年目を迎えました。今年度は久しぶりの第三者評価を受けさせていただき事となりました。課題と致しましては事業計画、中長期計画をしっかりと職員に浸透をさせ、意識を向けられるように、園長、主任、リーダー層で話し合いをして浸透させていく必要があると感じました。それを踏まえ、一年間を過ごしていきPDCAをしっかりと回し、最後に施設の自己評価を全員で行い、次年度へとつなげ、より良い保育園運営を行っていきたいと思います。

地域交流の輪も広げつつ、園庭開放、育児講座を通して、未就園児との交流、子育て支援にもより力をいれ、開かれた保育園を目指していきます。

コロナ禍も少しずつ緩和されており、行事開催の方法を少しずつ緩和していったり、保護者の方同士の交流の場をしっかりと持つ事ができました。保護者様にはたくさんのご理解、ご協力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。これからも職員と保護者様が一体となりアスクいどがや保育園に通われる大切なお子様の命を守り、安心安全を遵守し、皆様が通いたく保育園を目指して邁進してまいります。

ミライ・シア様にはとてのご丁寧な第三者評価を実施頂き、的確なアドバイスをありがとうございました。いただいたアドバイスを元に、課題改善に職員一同で努めてまいります。本当にありがとうございました。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり